



拓け！自らの可能性

～社会参加に向けて～

進路だより 第2号

令和5年9月29日発行

だて支援学校キャリア支援部

第11回特別支援学校作業技能大会

8月4日(金)に第11回特別支援学校作業技能大会がビックパレットふくしまで開催されました。福島県内にある特別支援学校19校から生徒186人が参加し、日頃の学習の成果を競い合いました。本校からはビルクリーニング部門、喫茶接客サービス部門、作業製品品評部門、プレゼン部門に9名の生徒が出席し、日頃の努力の成果を存分に発揮しました。

高等部 3年
M・S

私は、初めて技能大会の品評部門の発表をしました。他の学校の人が発表をしている時に、次が私たちだと思わず少し不安で緊張しました。発表が始まってから製品を持って紹介している間は、緊張して手足がふるえていた気がしました。しかし、自分が読むときには練習の時と同じように声も出て、発表することができて良かったです。

他の学校の製品を見て、初めて見たものもあり、勉強になりました。マグネットクリップは、銅賞をいただくことができて嬉しかったです。

高等部 3年
H・T

「作業技能大会で発表してみない？」江田先生から突然のオファー。「えっ？ぼく？」と思いました。「ぼくにできるかな？」と思いましたが、3年生最後の年なので、「出ます。」とすぐに返事をしました。

夏休みに入り、大会まではほぼ毎日登校し、練習に参加しました。はじめは、声が小さくて、また、なかなかセリフを覚えることができず、「発表できるかな。」と段々と不安になりました。

しかし、先生方からアドバイスをいただき、練習を重ねると「原君、いいね。」とほめられ、自信ができました。

当日は、郡山にあるビックパレットふくしまが会場でした。とても広くてたくさんの方がいて、緊張が止まりませんでした。

いよいよだて支援学校の順番になりましたが、会場に入った時よりも緊張し、「大丈夫かな。できるかな。」とずっと不安で、汗がおでこのあたりから流れるのが分かりました。

「大丈夫。あれだけ練習してきたから、自信をもって。」江田先生から言われると、緊張がすっとほぐれ、自信をもって製品を紹介することができました。結果は見事、金賞と銅賞をいただきました。

この夏作業技能大会は、ぼくにとって最高の夏の思い出になりました。

祝 作業技能大会受賞



<革工製品>部門
金賞「ふせんケース」



<革工製品>部門
銅賞「小銭入れ with パスケース」



<手工芸製品>部門
銅賞「マグネットクリップ」

私が作業技能大会を終え、印象に残ったことは2つあります。

1つ目は「大会の練習」です。初めての大会出場、そしてビルクリーニング部門にフルエントリーで参加したので、覚えることが多く、この短い期間で、清掃の一連の流れと細かい部分の動きなどを覚えることができるのかとても不安でした。しかし、先生方や講師の方から「動きにメリハリをつけるともっと良くなる。」「コールするときの声はお腹から出す。」というアドバイスや、種目ごとに改善した方が良いところ、意識した方が良いところなどたくさんのアドバイスをいただき、何回も練習をしたところ覚えることができたので、少しでも不安を減らすことができ良かったです。

2つ目は「大会当日」です。会場に入った途端空気感が変わり、予想以上に大勢の人がいたことも相まって、さらに緊張感が高まりました。それと同時に不安も感じました。競技中は、学校で教わった清掃手順や、行動のメリハリ、声の大きさ、確認するポイントなどを意識しながら挑みました。結果は、2級でしたが、大会に向けて練習してきた成果を発揮することができ、良かったです。また、大会に参加してみて、清掃をするときの自分の新たな課題を見つけることができたので、これからの作業学習で改善していけるよう、努力して参ります。

学校生活最後の年に、新たな挑戦をする機会をいただくことができ、良かったです。また、作業技能大会で学んできたことを学校生活にいかしていけるよう、日々努力して参ります。

私は、喫茶接客サービス部門に出場しました。昨年も参加しましたが、あまり練習に参加できず、良い成績を得ることが出来ませんでした。しかし今年も、毎日練習に参加することができました。

8月2日に行われた校内発表の時はとても緊張しましたが、自分が思っていたより上手にできました。

8月4日大会当日、会場に入った私は、これまで経験したことのない緊張感に包まれ、私の種目が始まる午後までずっと続けました。

私の名前が呼ばれると、緊張感はさらに高まりました。「大丈夫。練習通り。」私は自分に言い聞かせ、大きく深呼吸をしました。すると気持ちが落ち着き、競技に臨むことができました。はじめは手が震えてしまいましたが、お客様からオーダーを受ける時、大きな声で対応することができました。競技が終わった後、ホッとして泣いてしまいましたが、練習した通りにできて良かったです。

今年が最後の技能大会でしたが、念願の1級をとることができ、とっても嬉しかったです。唯一残念だったことはベストスマイル賞まで届かなかったことですが、この夏に経験したことをこれから始まる後期現場実習や、社会人として活躍する時の糧にしたいと思います。ご指導してくださいました先生方、ありがとうございました。



<ビルクリーニング部門>



<喫茶接客サービス部門>



作業技能大会報告会

【お知らせ】 ○令和5年度 第2回保護者進路研修会「伊達市・伊達郡の事業所説明会」
11月1日(水) 8:50~12:00

○令和5年度 年金セミナー
12月19日(火) 10:00~11:30

※近くなりましたら、お知らせを配付します。

保護者進路研修会

キャリア支援部 江田綾

PTAとの連携事業で7月20日(木)第1回保護者進路研修会を行いました。

伊達市健康福祉部社会福祉課障がい福祉係から3名の方に講師としてお話をさせていただきました。

内容は、以下の3点でした。

- ①福祉サービスの種別について
- ②伊達市・伊達郡の福祉サービス事業所について
- ③福祉サービス契約までの流れについて

質疑応答では、複数の質問が上がり、それについても丁寧な返答を頂きました。

参加した保護者からは「初めて就労継続支援A型、B型などがあることを知り、これからの本人、私たちのためになった。」など前向きな感想を多数頂きました。

11月には第2回保護者進路研修会を予定していますので、ぜひ御参加ください。



福祉施設等事業所見学会

7月31日(月)に、児童生徒一人一人のキャリア発達を考え、進路に生かすために、教員対象の事業所見学を行いました。今年度は、「就労継続支援事業所 DJカンパニー」と、「インクルーシブたかこ」を見学しました。



「卒業後を意識して生活する」

小学部 渡邊 美奈穂

DJカンパニーでは、クリーニング作業を見学させていただきました。洗濯物を仕分ける作業から、洗って乾かしアイロンをかけて畳むところまで一連の作業の様子を見せていただきました。一人一人が責任感をもって仕事に取り組んでいる姿が印象的でした。

インクルーシブたかこでは、施設内でリサイクル作業に取り組んでいるところを見学させていただきました。利用者さんが生き生きと作業をしている様子を見ることができました。アパートの清掃やゴミ分別作業を行っているというお話も伺うことができました。

見学している中で、卒業するまでに最低限の身辺処理を自分でできることや、ルールを守ることができるといったことを身に付けて欲しいというお話を聞き、小学部段階から卒業後の生活を意識して支援していくことの大切さを感じました。

新規福祉サービス事業所紹介

○NPO 法人ボネール 生活介護事業所 mimosa

- ・サービス種別:生活介護事業所
- ・住所:伊達市保原町内町21-14
- ・電話:024-529-7210
- ・作業内容:生産活動、創作活動、清掃作業等

○一般社団法人 KAON らぶわーく

- ・サービス種別:就労継続支援B型事業所
- ・住所:伊達市片町10-3 2階
- ・電話:024-505-0342
- ・作業内容:手工芸品製作等